

★健康相談★

◆母親の愛◆

旦那寺の和尚さんからの受け売り

太田順康

今回も漢方医学と関係あるような無いような話です。毎月お経をあげに来てくれるお寺の便りに記載されたお話です。12年ほど前にネットで見つけたお話だそうです。

幼い子供が泣いています。

幼い子供が泣いています。声を限りに泣いています。じれ切っています。泣いている子供の傍には母親がいます。あれほどじれて泣く子なのに、なんとか声をかけてやればいいのに。傍（はた）迷惑なこと、うるさくってしょうがないとふとみると、子どもに寄り添うた母親は、しきりに指を動かしています。なんと手話・手話でもって子どもをなだめるのに懸命なのです。耳が不自由なため声を出してお話が出来ないお母さんです。耳が聞こえぬばかりにこの子の訴えていることに気付くのが遅かったのでしょうか。じれきた子は、お母さんのなだめに静まりません。よくみると一生懸命手話をしているこのお母さん頬を涙が伝わります。絶え間なく流れてやみません。しかし涙して、そして満々たる慈愛の思いを顔に集めてほほえみます。

泣きわめく子に

ほほえみて手話をする母あり

頬に涙 流れいき

これは朝日新聞に載った短歌です。

子どもの訴えを聞き届けてやれぬ母は悲しい。声をもって話をしてやれぬ母はつらい。子どもがふびんでなりません。善処の方便もつきる思いから母は涙します。それでも慈愛はやみません。ありったけのやさしさを満面に集めてほほえみ続けます。（後略）

3歳の幼い私を残して逝った実母の思い。反抗的で、深夜徘徊を繰り返す不良に近い、甥っ子の私を育ててくれた義母（実母の妹）の思い。特に義母とは母子らしく接する時間が持てたのは成人して社会に出てからの数年でした。これからと云うときに乳がんであっけなく逝ってしまいました。この二人の母親の思いに心を馳せ、この二人が母親だったことに感謝してこの稿を書いています。



在禅洞

すこやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。
☆お茶など飲み物を持参しましょう。

<10月の予定>

5日(金) 12日(金) 19日(金) 26日(金)

雨の日だったり、台風が来ていたりで、9月の山歩きは最後の一回のみでした。その日は青空が広がり、空気も美味しく、心が晴れました。台風で木が倒れたり枝が折れたりしていましたが、池にはカワセミやヤマガラが来ていて、写真家たちも集まっていました。

§ 漢方相談日

担当：太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。
岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

4日(木) 15日(月) 29日(月)

§ 10月の休診日

8日(月・体育の日)

§ すこやか健診 9月1日～11月30日まで

受診券、保険証、自己負担金500円

§ 特定健診 6月8日～10月31日

受診券、保険証、自己負担金800円

また元善光寺にあった無財の七施のなかに、
眼 施一目は心の窓いつもやさしく、
和顔施一いつも笑みをたたえ、
言辞施一すみません、有難う、どうぞ、を素直にいい、
心 施一互いに助け合いかばい合い信じ合い、
身 施一世の為、人のために自分の力をつくし、
床座施一人に席をゆずり、
房舎施一つかれた人には家の中で休んでいただきま
しょう。

に相通じるものがありますね。

80過ぎても到達出来ていない私です。(つづく)